

公会計事業別財務書類分析シート

事業類型： 固定資産整備型

決算対象年度： 令和元年度 対象年月： 令和 2年 3月
 会計： 一般会計
 局： 県土整備局
 所属： 県土整備局県土整備経理課（直通 045-210-6075）
 公会計事業： 県土整備事業運営費

1 主な事業内容

・土木事務所等の庁舎整備を行う。

2 行政コスト及び純資産変動計算書

(単位：千円)

科目	H29決算	H30決算	R01決算	H29-H30増減率	H30-R01増減率
経常費用	410,337	484,017	825,953	18.0%	70.6%
人件費	19,803	14,744	55,784	△25.5%	278.3%
物件費等 ※	355,891	438,288	745,174	23.2%	70.0%
物件費	93,372	79,081	69,569	△15.3%	△12.0%
維持補修費	30,368	21,670	342,572	△28.6%	1,480.9%
減価償却費	232,151	337,537	333,034	45.4%	△1.3%
移転費用 ※	-	-	-	-	-
補助金等	-	-	-	-	-
社会保障給付	-	-	-	-	-
経常収益	28,582	-	-	皆減	-
使用料・手数料	-	-	-	-	-
その他	28,582	-	-	皆減	-
純経常行政コスト(経常収益-経常費用) ①	△ 381,754	△ 484,017	△ 825,953	△26.8%	△70.6%
臨時損失	3,581	45,799	209,035	1,178.8%	356.4%
臨時利益	-	-	-	-	-
純行政コスト(①-臨時損失+臨時利益)	△ 385,335	△ 529,816	△ 1,034,987	△37.5%	△95.3%
財源	305,940	3,297	96,521	△98.9%	2,827.5%
税収等	223,645	-	-	皆減	-
国等補助金	82,295	3,297	96,521	△96.0%	2,827.5%
本年度差額	△ 79,396	△ 526,519	△ 938,466	△563.2%	△78.2%
一般財源充当調整額	1,072,092	375,621	1,866,378	△65.0%	396.9%

(注) ※印の下位科目は、内訳を抜粋しているため、合計が一致しない場合がある。

3 貸借対照表

(単位：千円)

科目	H30決算	R01決算	増減率	科目	H30決算	R01決算	増減率
【資産の部】				【負債の部】			
固定資産	15,834,804	17,102,559	8.0%	固定負債	6,218,445	6,232,701	0.2%
有形固定資産	15,834,804	17,102,559	8.0%	県債	6,204,610	6,188,540	△0.3%
事業用資産	15,834,804	17,102,559	8.0%	長期未払金	-	-	-
土地	9,531,554	9,531,554	0.0%	退職手当引当金	13,835	44,161	219.2%
建物	13,746,212	13,713,701	△0.2%	損失補償等引当金	-	-	-
建物減価償却累計額	△ 7,663,424	△ 6,499,865	△15.2%	その他固定負債	-	-	-
工作物	714,369	896,847	25.5%	流動負債	198,897	560,431	181.8%
工作物減価償却累計額	△ 598,797	△ 572,985	△4.3%	県債	197,650	556,010	181.3%
その他	-	-	-	未払金	-	-	-
建設仮勘定	104,890	33,305	△68.2%	賞与等引当金	1,247	4,421	254.4%
インフラ資産	-	-	-	預り金	-	-	-
土地	-	-	-	その他流動負債	-	-	-
建物	-	-	-				
建物減価償却累計額	-	-	-	負債合計	6,417,342	6,793,133	5.9%
工作物	-	-	-	純資産合計	9,417,462	10,309,426	9.5%
工作物減価償却累計額	-	-	-	負債及び純資産合計	15,834,804	17,102,559	8.0%
その他	-	-	-				
建設仮勘定	-	-	-				
物品	-	-	-				
無形固定資産	-	-	-				
投資その他の資産	-	-	-				
流動資産	-	-	-				
資産合計	15,834,804	17,102,559	8.0%				

(注) 負債の部における未払費用、前受金、前受費用は、その他流動負債に含む。

4 事業分析

① 行政コスト計算書及び純資産変動計算書(経常費用の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、維持補修費が 320.9 百万円(1,480.9%)増加しています。要因としては、足柄上合同庁舎の設備工事等を実施したためです。

② 貸借対照表(資産の部)

R01決算の内訳は、土地が 95.3 億円で、資産の 55.7%を占めています。そのほか、建物が72.1億円、工作物は 3.2 億円となっています。

③ 貸借対照表(負債の部)

R01決算の内訳は、県債が 67.4 億円で、負債の 99.3%を占めています。

④ 貸借対照表(純資産合計)

R01決算では、資産合計 171.0 億円から負債合計 67.9 億円を差し引いた 103.1 億円が純資産合計となり、純資産比率(純資産合計/資産合計)は 60.3%です。

⑤ 貸借対照表(資産の経年比較)

主な増減(H30-R01の比較)は、建設仮勘定が 0.7 億円(68.2%)減少しています。これは、津久井合同庁舎新築工事が完成したためです。

(注1) ②の分析のうち「建物」「工作物」「建設仮勘定」は、事業用資産及びインフラ資産を合算した上で、それぞれ減価償却累計額がある場合はその金額を控除しています。

(注2) ③の分析のうち、「県債」は、固定負債と流動負債を合算した金額です。

(注3) 他の公会計事業で保有する財産や、国、市町村が保有する財産を整備・修繕するために発行した「県債」や「人件費(退職手当引当金等)」が計上されていることなどにより、資産の計上がない、純資産合計がマイナスとなる場合があります。